

インターナショナルフェスティバル2015

10月25日(日) アンデルセン公園

船橋市国際交流協会 インターナショナル フェスティバル 世界の国からこんにちは



インドネシア古典楽器・アングルの演奏

秋晴れの10月25日(日)アンデルセン公園において、船橋市国際交流協会主催のインターナショナルフェスティバル2015を開催しました。テーマパーク部門で日本第3位にランクされたこの公園には、この日も1万人近い入園があり、その多くの人たちにこのフェスティバルのコーナーを訪れて頂きました。

船橋市からは山崎副市長の挨拶があり、力強い高野太鼓で幕を開けました。当協会の田村会長からは、船橋市には既に2万5千人ほどの外国人が住んでおり、住み良い共生社会を作り上げていくためにより交流を深める必要があり、このフェスティバルもその一環として催しているとの主旨説明と集まって頂いた方々へのお礼の挨拶がありました。

ステージでは高野太鼓に続いて、デンマークの健康体操、タイの美しい民族舞踊、その間には外国人による日本語のスピーチもあり称賛の拍手が送られました。更に、ミャンマーの踊り、デンマークのバレエ、京劇、バンド演奏など国際色豊かな楽しいプログラムがあり、インドネシアの古典楽器・アングルの演奏“花は咲く”には東日本の災

害に改めて思いを寄せました。“みんなでいっしょにうたおう”では、ステージも客席も一体となった盛り上がりを見せ、フィナーレの“よさこいソーラン”で熱いステージが幕を閉じました。

イベントドームでは、協会の内容や活動の紹介展示も行われ、恒例となった船橋市商工会議所提供の“ホンビノス貝汁”のサービスは今年も大好評でした。

交流ひろばでは、フリーマーケットや世界の食べ物の模擬店、フルーツバスケットやジグソーパズルなどの遊びのコーナー、フェースペインティングや切り絵と大人にも子供たちにも終日楽しい時間を提供できたと思います。高野太鼓の皆さんによる太鼓のミニ体験コーナーにも真剣な顔の子供たちが一杯でした。

アマゾンの熱帯雨林の植林支援を続けているライオンズクラブからもネイチャーゲームや竹とんぼ作りの体験ブースの提供があり、子どもたちの好奇心を終日惹きつけていました。

広報委員 渡辺

～世界の国からこんにちは～ Funabashi International Festival 2015

アンデルセン公園 10月25日(日)

ステージ



高野太鼓



みんなであたおう



ミャンマーの舞踊



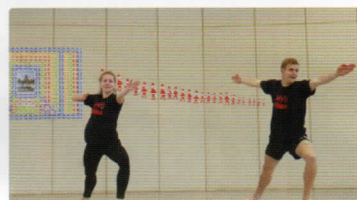
バンド演奏



タイ舞踊



デンマークのパレエ



デンマーク体操



よさこいソーラン



京劇



外国人の日本語スピーチ

フリーマーケット・模擬店



私の国のオシャレ



掘り出し物あるかな



ケバブはいかが



焼きたてだよ!



珍しいもののいっぱい



どちらに入ろうかなあ



熱々をどうぞ

交流広場



フェース・ペインティング



フルーツ・バスケットゲーム



竹トンボ作り ライオンズ・クラブ



ジグソーパズル



ホンビノス貝汁サービス
船橋商工会議所テント



世界の国からこんにちは

協会展示コーナー



船橋市国際交流協会



委員会活動とその目標

協会のそれぞれの委員会に、順次、委員会活動とその目標についてお聞きしています。今回は広報委員会です。

広報委員会 廣田委員長 広報委員会は、協会員向けの協会ニュースと外国人向けの「Yokoso」の発行、HPの作成を主な活動としています。会員の皆さんに協会の活動方針や活動状況を伝えることと共に、皆さんの声の広場であったり、地域に向けて協会の存在をアピールし、理念を広報していくことも大切な役目ですが、残念ながら後半の部分についてはまだ実力が伴っていません。

国際交流活動は、国策から始まり、いろいろな変遷を経ながら、現在のボランティア主体の活動に変化してきました。活動内容も、従来からの外国人支援活動に加え、内なる国際化、多文化共生社会の構築など地域活動と直接的にリンクした活動も課題となってきました。地域の他民族、他文化との対応能力が今後の地域の活性化に大きな役割を持つと言われていました。在住外国人との日々の共存努力が必ず役立つはずとの考えが背景にあります。私たちの協会も、共生社会の構築を既に方針に取り入れてきています。

今後、こうした組織の外との接点に関わる事柄にも関心を持ち、関われる力も高めて行かなければならないと考えています。

協会個人会費改訂のお知らせ

26年度定時総会において個人年会費の改訂が可決されていきました。その実施を平成28年度会費より行わせていただきます。

なお上記総会以降 ①市の交付金の増額 ②経費節減 ③団体会員の獲得による会費収入の増額 ④未納会費の撲滅など財政状況の改善に取り組んでまいり、一定の成果を上げました。引き続き改善に向けて取り組んでまいりますが、一方29年度には消費増税もあり、一層の財政状況改善のため、来年度の会費より改訂させていただくこととしました。

会員の皆さまのご理解を賜り、今後とも協会活動へのご協力をお願いいたします。

船橋市国際交流協会会長
田村 泰一

改訂内容

個人年会費
平成28年度より2000円

世界の国からこんにちは 国際理解セミナー タイ王国

第8回国際理解セミナーが10月8日（木）フェイスビル6階のきららホールで開催された。今回は駐日タイ王国特命全権大使 シハサック プアングゲグオ氏の講演で、参加者はおよそ220名でした。

大使の話に先立ち、タイから千葉大学への二人の留学生の日本語でのショートスピーチが行われた。スピーチの内容は巧みな日本語で分かりやすく、積極的な学ぶ姿勢や一生懸命に日本での生活を楽しもうとしている姿は参加者に大きな好感と共感を与えた。

大使は講演の冒頭に、ご自身も2度目の日本勤務だが、留学生の素晴らしい日本語習得に感心され、ご自分も見習わなければと述べられた。英語によるスピーチの内容は、二国間の交流の歴史、通商の状況、タイ国旗の説明、観光など多岐に亘り、簡潔で分かり易かった。大使の親しみ易い人柄が垣間見られ、格調高く、簡潔な日本語通訳と相まって、多くの観客が感銘をおぼえたセミナーだった。日本の泡盛は長年にわたってタイ米から作られているという興味深い事柄も伺った。このような機会

を通じて少しずつ外国の国々を身近に感じていくことが国際理解セミナーの大きな目的です。

最後に4人の日本人ダンサーによる、きらびやかな伝統衣装のタイ王国民族舞踊が解説も加えて演じられた。優雅な指や体の動きにしばし「微笑みの国」に想いを馳せることができたでしょうか。

広報委員 中川



タイ王国プアングゲグオ大使



タイの伝統舞踊

田村協会々長 市の国際親善功労賞を受賞

当協会の田村泰一会長が27年度「船橋市国際親善功労者」として表彰されました。田村会長に、今迄の取り組みや今後の課題について聞きました。

田村協会々長 私が国際交流協会に携わって25年が過ぎました。当時の協会はヘイワード市との市民交流推進が主な事業でした。その後オーデンセ市、西安市と姉妹・友好都市が増えましたが、協会は市民交流の先頭に立って事業を進めてきました。

創立20周年の時、国際交流の大きな流れの中で、市の直轄であった日本語教室、外国人相談窓口、ようこそ船橋の3事業と合併した事で協会の運営が大きく変わりました。合意迄に3年を要した難しい作業でした。25周年には「国際理解セミナー」を立ち上げました。

最近、我が国の人口減対策として外国人移民受入れの施策が政府により検討されています。現在船橋市の外国人比率は推定4%前後ですが、将来は大きく膨らむものと予想されます。急に「外国人と仲良くする様に」と政府が声を張り上げてもらいたいとは思いません。長い時間がかかります。今から交流を深め、共に協力して「住みよい町づくり」を進めて行かねばなりません。

協会の重要性は益々高まり事業も多角的にしかも極めて細かなものになると思います。「次代を担う人材の育成が最大の目標」になると考えます。

従って今回の受賞は私個人ではなく「その素地を作れ」との協会全体への市の要請と理解しています。

協会の重要性は増す一方です。宜しくお願いします。

折り紙教室講習会

9月30日（水）中央公民館で午後の2時間「楽しい折り紙教室」が開催されました。文化交流委員会の今年の事業計画の一つ「日本人から外国人への日本文化を紹介するイベントの開催」が実行されたものです。

「日本折り紙協会講師」で協会員でもある 青木明子さんの指導で、参加者17名が大小サイズの少し異なる2枚の折り紙を使ってブローチを作製。「裏表を間違わないように」「折り目はしっかり押さえて、はっきりつけると折り易いですよ」などの先生からのアドバイスを受け「難しい、分からない」と大騒ぎをしながら熱心に折りました。マニキュア液を塗ってピンを付けると完成です。特にラメのマニキュアを塗ると光沢が出、「折り紙で作ったようには見えない」と満面の笑

みを浮かべて、皆さん満足顔でした。

フィリピン出身で歌手のヨランダさんは「初めて協会のイベントに参加したけど楽しかった。今後も機会があったら参加したい。老人ホームに慰問に行くことがあるので、その時にはこれを教えてあげよう」と語ってくれました。

文化交流委員
中川純子



折り紙教室風景

留学生の市長表敬訪問

ヘイワード市との姉妹都市提携を軸とする国際交流協会のカリフォルニア州立大学イーストベイ校への推薦留学は、今年で25年目を迎え、今までに49名が留学を終えました。8月28日（金）、帰国間もない第24期生の上村飛翔さんと新しく出発する第25期生の椎名健一郎さん、石丸恵祐さんの3名が田村会長、嘉規副会長と共に松戸市長を表敬訪問しました。

市長からは、国の外交に不確定さが増す中での人と人が知り合う姉妹都市交流の必要性が力説され、先輩たち同様に友だちを作ってきてほしいと要望されました。また、船橋について英語で語れるように準備して欲しいとの要請もありました。

椎名さんは物理学、石丸さんは運動学が専攻で、それぞれの視点で新しい経験をしていくでしょう。留学を終えた上村さんは、多国籍の学生との共同生活の経験を以下の手記で寄せてくれました。

○留学先での国際交流（上村飛翔さん寄稿）

アメリカ、特にサンフランシスコ周辺は世界中の国から人が集まります。特に留学先の大学は極めて多様性に優れており、親しく話していた友人関係だけで考えても世界20ほどの国と地域を挙げることができます。

彼ら彼女らと話しをするたび、他国の歴史や社会、文化などありとあらゆる分野の新たな知識を得ることができました。国籍は違いますが、留学しているという同じ立場から親近感が生まれ、時間を見つけては自分の国について一生懸命に説明し、相手の国についてはしっかり耳を傾け、よりいっそう仲良くなっていきました。そうした彼ら彼女らとの経験はここイーストベイ校への留学ならではの経験と言えるでしょう。今後の船橋からの留学生も、より多様で多くの外国の方々と語り合う毎日を大切に、ますます充実した留学生活を送ってくれることを祈っております。

広報委員 廣田



留学生市長訪問

左より、田村会長、石丸さん、上村さん、松戸市長、椎名さん

避難所宿泊訓練

8月29日（土）～8月30日（日）に市立行田中学校で外国人のための避難所宿泊訓練が行われた。宿泊体験を通して、普段からどんな準備と心がけが必要かを考える機会として、毎年行われている。今年は、最近の自転車に関わる事故の急増に対応し、事故の恐怖を体験し、未然に防ぐ交通ルールを学んでもらうスタントマンによる「スケアード・ストレイト自転車交通安全教室」も同時に行われた。

今年は、外国人28名、サポータ19名、市役所10名、横須賀など他地域からの10名の67名が参加し、救命、消火訓練、宿泊と非常食の体験などをした。

参加した外国人の中の2名から、次の様な体験記を寄せて頂きました。

チト セルゲイさん（ロシア、オンリーワン日本語学校）

生まれて初めて防災訓練に参加しました。同じ日本語学校のロシアから来た友人も一緒に。最初に本当の

オートバイを使った交通事故の説明はすごく迫力があり、驚きました。やはり、写真や本、話では絶対にわからない事実のすごさがありました。夜はカレーを食べて寝ましたが、事故や災害のことを考えてしまい、あまり寝られませんでした。でも、非常に貴重な経験をさせてもらい感謝しています。



セルゲイさん（左）

スダラカンさん（インド、浦安市国際交流協会）

8月、船橋市国際交流協会の避難所宿泊訓練にインド、中国、ベトナム、ロシアの人が参加しました。

1. 自転車事故のデモンストレーション。事故の恐怖を体感。安全の大事さを再認識しました。
2. 救命講習。いざという時、勇気を持って倒れた人を救うために覚えておくべきと感じました。
3. 避難所訓練。言葉が異なるとストレスを感じるが、多言語掲示があり安心できました。夕食のカレーは、非常時ベジタリアンで肉を食べられないといえる状況ではないので、我慢して食べました。おいしかったが、訓練のおかげで日常食べているときは有難く頂いています。



スダラカンさん

防災を意識しながら 生活することの大切さを感じる訓練でした。



消火器操作と自転車教室

Did you hear?

知ってた?

“Boso No Mura”

Have you ever heard of Boso No Mura? It is a place which takes back into history. It consists of workshops of long ago. You can learn about Boso history through the vendors shops and farmers houses. You can use all of your 5 senses there. You can understand the culture long time ago. You can enjoy workshops. For example Tea ceremony, making chopsticks, making tatami coasters, designing candles, weaving baskets, wearing old style clothes and geta shoes, making accessories, making Japanese paper and dying cloth. Also many events are planned throughout year. In case you have foreign guests and take them there, they will enjoy.

<https://www.chiba-muse.or.jp> >MURA

房総の村

房総の村を知ってた? 房総の村は、昔々に戻る場所です。時代をさかのぼったワークショップがあります。店やお百姓の家を通して房総の歴史を学ぶ事ができます。あなたは、そこで五感を全て使えます。大昔の歴史をよく理解し楽しめます。例えば、茶道、箸作り、いぐさコースターの製作、ろうそく絵付け、かご編み、昔の着物を着て下駄を履く、飾り作り、和紙すき、染め物などがワークショップで体験できます。また一年を通してたくさんのイベントが、企画されています。外国のお客さまを連れて楽しめます。

ホームページ：www.chiba-muse.or.jp >MURA



広報委員 福井

広報委員会 メンバー募集

国際交流協会・広報委員会では一緒に活動するメンバーを募集しています。

主な活動：

- ・会員向けの協会ニュース発行
- ・外国人向け生活情報誌「YOKOSO」の発行
- ・ホームページの作成

関心のある方、

ぜひお問い合わせください。

問い合わせ先：

船橋市国際交流協会 事務局

(船橋市役所国際交流室内)

TEL 047-436-2083

FAX 047-436-2089



お知らせ

<カリフォルニア州立大学への留学生募集>

姉妹都市であるカリフォルニア州ヘイワード市のカリフォルニア州立大学イーストベイ校への留学生を募集します。

留学期間：28年9月中旬～29年6月中旬

応募資格：以下のすべてに該当する人

- ①日本国籍を有し、船橋市内に継続して1年以上住んでいる。(大学生で市内の親元を離れていても可)
 - ②平成8年4月1日以前の生まれで、高校を卒業している。
 - ③TOEFL525点(iBT61点)以上を取得している。
 - ④協会の会員となり協会の交流事業に協力できる。
- ※詳細は、募集案内を参照ください。
(協会ホームページ/www.fira.jpで参照出来ます。)

募集人員：3名

受入学部：芸術、文学、社会科学、経済、教育、科学

選考方法：1次 書類選考

2次 英語・日本語での面接(28年2月中旬)

申込期限：28年1月29日(金)までに

国際交流協会(〒273-8501 住所不要)

申込用紙：協会事務局で配布、又は協会ホームページからダウンロードできます。

特典：①授業料の約6割が免除されます。

②船橋市国際交流協会より奨励金が支給されます。

あとかき

「A子がさ、『小学校卒業記念にディズニーランド行こうよ。B男やC子とかも誘うからさ〜』って」と言う小5の息子。

「ダブルデート?!」とはしゃぐ母に「そんなじゃねーし」といっても、まんざらでもない様子…ただしディズニーランドに「行ける」ことが分かってない。分かってないぞ、その価値が!

正直に告白しよう。A子ちゃんのお誘いに母が心底喜んでいることを。ただ、この年頃の女の子の男子に対する評価が日に日に厳しくなるもの。ここから一年半、息子がA子ちゃんにとって魅力を保ち続けることを祈るばかりである (SF)